

飯田善國展

黒シリーズ 夜景

2018年10月～2019年4月



夜景-ネオンのある 1953年

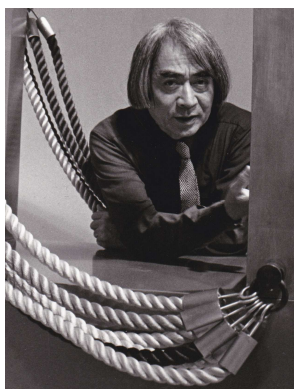


夜の目黒川の夜景 1953年

目黒川C 1956年



飯田 善國 (いいた よしくに)



飯田 善國

1923 (大正 12) 年、栃木県足利市生まれ。

慶應大学高等部から学徒出陣し中国大陆へ。戦後は同大学に復学し西脇順三郎(詩人・英文学者)に師事。卒業後の1948(昭和23)年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。大学卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。

1956(昭和31)年、小説家野上彌生子との縁でローマに留学しファツナーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。その後ウィーンに移り1959(昭和34)年に抽象裸婦連作を描くと、本格的に彫刻に転じ、ウィーンやベルリンを拠点に活躍。1967(昭和42)年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属とロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外に広く知られる他、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。1997年7月、日本経済新聞「私の履歴書」連載。2006(平成18)年・没[享年82歳]

館名変更のお知らせ

IIDA-KAN(館長:伊藤 光昌)は2018年7月に「TRIAD IIDA-KAN」へ館名を変更しましたのでお知らせいたします。

また あわせて、同敷地内にある「I-KKAN(株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの研究棟)」及び「守衛棟(株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの守衛所)」と合せた3棟の建築群「TRIAD」の運営組織を、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ(代表取締役社長:長井 啓)から公益財団法人ハーモニック伊藤財団(理事長:伊藤光昌)へ変更いたしました。

黒シリーズ 夜景

1950年代の日本は、未だ戦後の混乱期が尾を引く中、ヨーロッパの新しい芸術の動向とその情報が大量に入ってきて、飯田も様々な試みを重ねていきました。

その中で生まれた『夜』の思想が、画家としての飯田にとって最大のテーマであったといえる『夜景』シリーズを生み出しました。

今回は、当館コレクションの中から1950年代の目黒川を中心とした油彩画と1941年～1950年に描かれた板絵の展覧会となっております。2018年10月



■開館時間:午前10時～午後4時・無休

■交通:[電車]JR 大糸線穂高駅から「株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ」を目的地に タクシーで15分
[車]長野自動車道安曇野インターより20分

■お問い合わせ:〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1856-1
公益財団法人ハーモニック伊藤財団 TRIAD IIDA・KAN
TEL 0263-83-6800(代) <http://www.hds.co.jp/>



TRIAD IIDA-KAN (とらいあど いいだかん)